

Notice board

■学会活動報告及び会告の原稿提出期限について (お知らせ)

学会活動報告及び会告について、学会誌に掲載をご希望の場合、各号発行日の前月末までに原稿をご提出下さいますようお願い申し上げます。

巻号	発行日	原稿提出期限
Vol.63 No.4	2026年7月25日	2026年6月30日
Vol.63 No.5	2026年9月25日	2026年8月31日

提出先: post@landslide-soc.org

発刊予定と投稿原稿の募集

予定巻号	発刊予定年月	特集内容 (予定)	投稿申込締切期日	原稿締切期日	募集要領掲載巻号
63(3)	2026年5月	—	—	—	—
63(4)	2026年7月	火山・火山噴出物に関連した土砂災害とその対策	2025年8月31日	2025年11月30日	62(3)
63(5)	2026年9月	—	—	—	—
63(6)	2026年11月	地球温暖化に直面する寒冷地の斜面変動研究	2025年12月15日	2026年4月15日	62(5)
64(1)	2027年1月	—	—	—	—
64(2)	2027年3月	海外の地すべり	2026年4月15日	2026年7月31日	63(1)
64(3)	2027年5月	—	—	—	—
64(4)	2027年7月	令和6年能登半島地震による地すべりと地震地すべりの防災・減災対策	2026年8月31日	2026年11月30日	63(3)

*一般投稿とシリーズ「地すべり探訪」、ニュース、フォーラムは随時募集しています。

■特集「令和6年能登半島地震による地すべりと地震地すべりの防災・減災対策」原稿募集

令和6年能登半島地震では広範囲に多数の地すべりが発生し、さらに地震の影響が残るなかで同年9月の奥能登豪雨が発生するなど、地域に甚大な被害をもたらしました。現地では地震・豪雨災害からの復旧・復興に向けた調査・対策が進められており、本学会でも災害調査団や令和6年能登半島地震災害対応委員会などを通じて、地すべりの発生機構や対策手法に関する調査・研究が行われています。

このような調査・研究を通じて、地震地すべりの貴重なデータや対策事例、新たな知見や課題が得られつつあります。また、これまでの大規模地震の経験から積み重ねられてきた地震地すべりの知見や対策技術を踏まえることにより、今後の地震地すべりの防災・減災対策に関する議論の活発化や対策技術の進展が期待されます。

そこで本特集号では、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨による地すべりに関する調査・研究や現場事例、これまでの地震の調査・研究を踏まえた地震地すべりの新たな知見や対策技術などについて、幅広く原稿を募集します。多くの会員からの積極的な投稿をお願いいたします。

○特集名: 令和6年能登半島地震による地すべりと地震地すべりの防災・減災対策

英文: Landslides caused by the 2024 Noto Peninsula Earthquake and Disaster Prevention and Mitigation Measures

○公募原稿のテーマ例

- ①能登半島地震、奥能登豪雨で発生した地すべりの特徴と発生機構
- ②能登半島地震、奥能登豪雨で発生した地すべりによる被害と対策の事例
- ③地震地すべりの検知・予測技術
- ④地震地すべりの対策技術

○募集原稿: 技術報告、研究ノート、論文、総説、その他

○発刊予定: 第64巻4号(2027年7月末頃発行予定)

○投稿申込み: 2026年8月31日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

・申込みアドレス: post@landslide-soc.org

・メールの題名: 特集号原稿申込(著者名)を記入

・申込み項目: 特集名、題名、著者名、所属、連絡先住所、電話、メールアドレス、原稿種別、要旨(200字程度、添付ファイルとせず、本文に入れてください。)

○原稿執筆

・執筆要項: 学会誌第63巻2号または学会HPに掲載の執筆要領

・原稿締切: 2026年11月30日

・原稿送付先: <https://www.editorialmanager.com/jls/>
(Editorial Managerを利用した電子投稿とします。)

なお、投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって、内容によっては通常号への掲載をお願いすること、あるいは掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。